



# ましきな

校是：向学 誠実 開拓  
 与論町立那間小学校  
 TEL 0997-97-2278  
 FAX 0997-97-4950

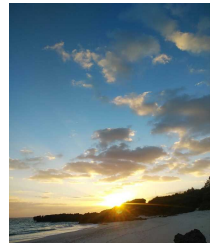


## 「2023年を迎えて…」

那間小学校 校長 有留 雄一郎

あけましておめでとうございます。3年ぶりの行動制限のない年末年始。今年は天気にも恵まれ、各地で賑やかな正月が迎えられたことだろう。

今年の干支は「癸卯（みずのとう）」。「癸」は雨や露、霧など、静かで温かい大地を潤す恵みの水を表しており、十干の最後にあたる癸は、次の新たな生命が成長し始めている状態を意味している。「卯」は穏やかなうさぎの様子から安全、温和の意味がある。また、うさぎのように跳ね上がるという意味があり、卯年は何かを開始するのに縁起がよく、希望があふれ、景気回復、好転するよい年になると言われているとのこと。コロナ感染症やロシア・ウクライナ情勢もまだまだ不安な状況が続く、物価上昇もまだまだ続く。2023年、一日でも早く世の中がこの卯年に好転してほしいと願う。



さて、2学期が終了した翌日、12月24日世の中はクリスマスイブ。そんな日に私たちは素敵な話を拝聴する機会を得た。講師は「走る冒険家Ponちゃん」こと「岩元 みさ」氏(与論小岩元校長の娘さん)。「人生どこまでいけるか 砂漠への挑戦」という演題で話をされた。主な経歴をざっと紹介する。

2018年4月、世界で一番過酷なマラソンと言われているサハラマラソン237kmに出場し完走。

2018年10月、イランシルクロードウルトラマラソン230kmを日本人初完走。

2019年5月ナミブレス251km完走。

これらのマラソンは様々な厳しい条件をクリアしてやっと参加が認められる。見知らぬ場所に下ろされ、そこからスタート。数日間に渡るレースなので各大会の細かなルールのもと、水や食料などの入ったリュック(約17kg)を背負いながら、砂漠の中を走り続ける。常に危険と隣り合わせの非常に過酷なレースである。



実際お会いした岩元みささんは、ボーイッシュな感じではあるが、明朗快活な女性で砂漠を走るランナーとは一見想像がつかない。父親の転勤先の学校に通い、小学5年生で陸上を始め、そして中学校ではソフトボールで県選抜に選ばれるほど運動神経はよく、活発な子どもだったとのこと。県立高校に進学後、挫折を味わい、1年の3月に退学。そして自ら見つけた山口県の高校へ再入学。高校卒業後は、やりたいと思ったことにはとにかくチャレンジする生き方を目指し、「私自身が挑戦する姿で周囲の人を勇気づけたい!」と考え、冒険家になったという。御両親の支えも大きな土台となったことだろう。講演は非常に充実した内容で、私たちを魅了する多くのエピソードがあった。その中で印象に残ったことを一部紹介したい。

「真心は世界共通」…与論の「誠の心」に通じるものがある。

「できないこと=可能性」…できないことをあきらめるのではなく、可能性があると信じて飽くなきチャレンジの大切さを訴える。

**等身大の自分であり続ける…常に自分と向き合い、無理をしないこと。自分を知ること。**

どんなにきつくてもあらゆる事象や周りの人々に感謝の心を常にもつこと…感謝は全てに通ずる。

そしてまた「新たな冒険や挑戦がまだまだこれから続きます」といただいた年賀状に記されていた。

いずれ「島だち」しなければならぬ与論の子供たち。その子供たちと関わる私たちに多くの教えを示唆していただいた。いずれどこかの機会でも子どもたちに紹介していきたい。

新年を迎え、「さあやるぞ!」というワクワクした決意をもって子供たちは新学期をスタートさせた。その一人一人の決意を大切にしつつ、今年度のまとめをしっかりと行い、次の学年への準備の学期としたい。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

### 1月

- 1月10日(火) 始業式・生徒指導強調週間・給食旬間
- 13日(金) 学級PTA
- 16日(月) 生産者との交流会・持久走前健康診断相談・清掃強調週間(～20日まで)
- 17日(火) 鹿児島定着度調査(～19日)
- 20日(金) 中学校入学説明会
- 25日(水) 校内持久走大会
- 27日(金) キビ刈り(4年)
- 31日(火) 避難訓練(地震)

### 2月

- 2月1日(水) 新入児保護者説明会・与論高校AT(～17日)
- 2日(木) PTA理事会
- 3日(金) 新1年生との交流会・黒糖づくり(4年)「生命誕生」(6年)
- 7日(火) 校内なわとび大会(～9日)
- 17日(金) ユンヌフトゥバ学習・第3回学校保健委員会
- 22日(水) 学校評議委員会
- 23日(木) 天皇誕生日
- 24日(金) 授業参観・学級PTA・専門部